

コグノス

エンタープライズBI Web レポートニングの最新版「Cognos ReportNet 1.1 MR1」に続いて、 エンタープライズ・スコアカードの最新版「Cognos Metrics Manager 2.2」を出荷開始

コグノスは、エンタープライズBI Web レポートニングの最新版「Cognos ReportNet 1.1 MR1」を8月25日より出荷開始したのに続いて、この10月からはエンタープライズ・スコアカードの最新版「Cognos Metrics Manager 2.2」を出荷開始する。

Cognos ReportNet 1.1 MR1

「Cognos ReportNet」は、膨大なデータから Web ブラウザを通して必要な情報をレポートとして取り出すエンタープライズBI Web レポートニング製品。企業内に分散している様々なデータソースからデータを引き出し、ビジネスで重要な情報を一つのレポート上に表現することができる。25以上の言語対応と、ピュア Web アーキテクチャにより、TCO 削減に貢献し、すでにワールドワイドで多数の企業で採用されている。

8月25日より出荷を開始した最新版の「Cognos ReportNet 1.1 MR1」では、オラクルの「Oracle Application Server 10g」及び「Oracle Database 10g」に対応。さらに、Oracle プロキシ認証及び1つのデータベース・オブジェクトを複数のユーザーで安全に共有できる仮想プライベートデータベース（Virtual Private Database）への対応なども強化している。これらの機能強化により、すでに導入済みのOracleプラットフォーム資産が有効に活用されるだけでなく、Oracleを利用したビジネスを行っている企業にとって、Oracle 10gの統合されたプラットフォーム上で「Cognos ReportNet」を活用することが容易に実現可能となっている。

昨今のエンタープライズBIには、堅牢性、セキュリティと並んで、既存資産を無駄にしないで対応できる親和性が必要とされている。コグノスでは、Oracleを中心とした幅広い最新プラットフォームに対応したCognos ReportNet 1.1 MRIにより、既存資産を生かしたエンタープライズBIを実現し、企業の競争力向上に貢献していくとしている。

Cognos Metrics Manager 2.2

現在、日本でもバランス・スコアカード（BSC）をはじめとする業績管理が浸透しつつあるが、依然、多数の表計算スプレッドシートを手作業で更新し、評価指標（KPI：Key Performance Indicator）を作成するという方法が主流となっている。このため、評価指標の作成に時間がかかってしまい、先行管理やタイムリーな戦略変更が難しいという問題があった。「Cognos Metrics Manager」は、企業の戦略目標を確実に実行するために定めた評価指標を管理する一元化されたスコアカードをリアルタイムに提供する。

10月より出荷を開始する「Cognos Metrics Manager 2.2」では、評価指標を簡単かつ迅速に定義する新コンポーネント「Cognos Metrics Designer」の追加により、生産性が大幅に向上している。さらに、ビジネス・ユーザーが普段取り扱うビジネス・インテリジェンス（BI）のデータより評価指標を抽出できるため、BIを普段利用するユーザーはデータの意味（セマンティックレイヤ）を随時検証する必要がなくなる。これにより、ビジネスに携わる管理者自らが必要な評価指

標を迅速に作り出すことができ、機動性の高いマネジメントの実現が可能になる。作成されたスコアカードはコグノスのエンタープライズBIと統合されており、多数の評価指標を自動的に算出する際、BIのデータ処理能力を最大限に利用できる。

以下に、Cognos Metrics Manager 2.2の主な特徴を示す。

- ・評価指標(KPI)を簡単かつ迅速に定義する新コンポーネント「Cognos Metrics Designer」により、評価指標作成の生産性が大幅に向上。

- ・戦略目標を確実に実行するために定めた評価指標を管理する「スコアカード」を提供。スコアカードは、膨大な情報から着目すべき問題点や戦略の達成状況などを俯瞰することができる管理手法。

- ・コグノスが提供するエンタープライズBIと密接に統合。この連携により、社内での協調性のとれた意思決定が行えるほか、企業業績の管理に必要な評価指標を迅速に配布し、情報の共有を促進する。

- ・バランス・スコアカードやシックス・シグマといったさまざまな方法論に基づいたスコアカードに使用可能。独自のスコアカードや既存の管理方法論を基に、評価指標同士を容易に関連付けて管理できる。

- ・バランス・スコアカードを提唱したキャプラン氏が主催しているバランス・スコアカード・コラボラティブ (<http://www.bscol.com>) の認定製品。

TEL : 03-3344-3031

日立製作所

統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」を発売

日立製作所 情報・通信グループ(日立)は、サーバ、ストレージ、ネットワークおよびシステム管理ソフトウェアを一体化させて、最大40%のTCO削減を可能にした統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony(ブレードシンフォニー)」の販売を開始した。同製品は、日立のサービスプラットフォームコンセプト「Harmonious Computing」に基づき、幅広いハード/ソフトウェアの技術を結集して、ブレード仕様のサーバ部とストレージ部、ネットワーク部およびオペレーティングシステム(OS)、システム管理ソフトウェアをユーザーの要件に合わせて選択、1つの筐体に収容したプラットフォーム製品である。新しく開発された

システム管理ソフトウェア「BladeSymphony Manage Suite(ブレードシンフォニー マネージスイート)」で全てのハードウェアを統合し、システム構築の容易化やシステムの統合運用、システムの状態に応じた柔軟で迅速なシステム変更を実現。また、同社の統合システム運用管理「JP1」と連携することで運用手順(ポリシー)設定による自動運転機能など、より高度な運用が可能となり、システムの運用性を大幅に向上することができる。なおOSには、Windows Server 2003とRed Hat Enterprise Linux AS3を採用し、オープン環境の豊富なアプリケーションを利用することができる。

TEL : 0120-2580-12

日本ストラタステクノロジー

ローコスト版無停止型サーバ「ftServer 100Jシリーズ」を発表

日本ストラタステクノロジーは、インテル社製最新CPU搭載の新しいローコスト版FTサーバ(Fault-tolerant server:無停止型サーバ)の新シリーズ「ストラタス ftServer 100Jシリーズ」の販売を日米同時に開始した。同製品は、完全二重化によるフォールト・トレランスで99.999%超の最高水準の可用性を実現しつつ、大幅に価格を下げ、市場販売想定価格100万円台からの提供を実現した、新しいコンセプトによる、分散環境やアプライアンス等の新たなニーズに対応した製品である。主な特長は次の通り。

インテル社最新CPUを搭載し、優れたコストパフォーマンスを実現。従来

機種の特徴である99.999%超の可用性を保持しつつ、大幅な低価格化を実現(CPU、メモリ、PCIカード等の障害コンポーネントの交換には計画停止が必要)全コンポーネントが「2重化で障害停止しない」というFTサーバ・シリーズの特徴を継承し、分散環境で使用するサーバや特定用途向けパッケージ型アプライアンス等にも利用できる

インテルXeon 3.06GHz、1-way(論理CPU)モデル、最大4GBのメモリ、内蔵ハードディスク80GB x 3ペアまで搭載可能
マイクロソフト社のWindows Server 2003 Standard Edition をサポート

販売形態は全て規定パッケージングにて提供 TEL : 03-3234-5562

サン・マイクロシステムズ

他社製クラスターソフトの接続認証を推進する「Sun Cluster Open Storage Program」を開始

サン・マイクロシステムズ(サン)は、システムの連続稼働率を高めるクラスターソフトウェア「Sun Cluster 3」と他社製ストレージ製品の接続認証を推進する「Sun Cluster Open Storage Program」を日本国内で開始した。同プログラムは、サンのストレージ製品群であるSun StorEdgeストレージ製品とSun Cluster 3の組み合わせを保証するのと同様の検証方法・プロセスに基づき、他社製ストレージ製品との接続性についての認証を与えるものである。これにより、異機種混合環境においてもサンが認証したクラスターシステムを利用できるようになり、企業システムの連続稼働に重要な役割を果たすクラスターシステムの、より一層円滑な運用管理が可能になる。具体的には、サンが自社製品同士の品質保証テストを行う際に使用する総合検証ツールをストレージベンダーに提供。ベンダーは、このツールを用いて自社ストレージとSun Cluster 3ソフトウェアの組み合わせの検証作業を行う。検証期間中はサンの開発部門で品質保証を担当するエンジニアがコンサルティングおよびサポートを提供。最終的に得られた検証結果をサンとベンダーで確認し、認証取得の基準を満たしていることが認められると正式なSun Cluster 3 対応ストレージとして認定されることになる。

TEL : 03-5717-5717

日本 HP & NTT ファシリティーズ

サーバシステム環境構築トータルソリューション事業で業務提携

日本ヒューレット・パカード（日本HP）とNTTファシリティーズは、ブレード型サーバなどの大規模情報システムの導入と電源・空調システムなどのファシリティー構築を合わせたサーバシステム環境構築トータルソリューション事業で、アセスメント・コンサルティングから設計・施工、保守・運用までの幅広い分野において業務提携を行った。

今回の業務提携にあたり両社は、企業におけるIT機器の電源および発熱の問題点を「IT機器の高性能化・高密度化」、「ITシステムの構造（無駄な電力消費＝地球環境問題）」、「ITからファシリティーまでトータルにソリューションを提案できるベンダーが不在」の3つと捉え、こ

の問題に対して、両社の得意な技術・サービス・ノウハウを相互に活かして、サーバシステムの導入から電源・空調システムなどのファシリティー構築まで、ワンストップで提供することで、より顧客企業のITシステム、ファシリティーにおけるTCOを削減し、競争力強化を支援するとともに、より信頼性が高く、地球環境に配慮したITシステム基盤の構築に貢献することを目的としている。この提携に基づき、今後は、最新サーバによる統合ソリューションや、ITファシリティー構築ソリューションなどの提案を行っていく。

日本HP TEL：03-5463-8570 /

NTTファシリティーズ TEL：03-5444-5112

ノベル

中国のLinux標準化団体を通じて中国におけるLinuxの普及を促進

米国ノベル社は、最も急速に成長するLinux市場である中国に注力していく意向を示すものとして、中国政府が国内におけるLinuxの普及を図るために発足したLinux標準化団体「China Linux Standard Group」への参加を発表した。ノベル中国支社は「標準化団体の幹部やその他のメンバーと協力し、同団体のLinux標準化や教育に関する活動に貢献し、中国におけるLinux普及を目指して統一的な推進を図ります」と語っている。

China Linux Standard Groupは、中国情報省のもとで2004年4月に設立された。同団体はLinux関連アーキテクチャにおいて不可欠な標準を開発し、定義する役割を担っている。ノベルは、

China Linux Standard Groupに正式参加する唯一の国際的な商用Linuxベンダーとして、他のメンバーとともに、地方レベル、全国レベルの各種ソフトウェア開発コミュニティや中国企業からの情報を調整し、中国のIT関連学術専門家やその他の専門家に対し、Linuxに関するコンサルティングや助言を提供していく。今回の動きには、中国において台頭しつつあるLinux市場を、明確に形成する効果が期待されている。同団体の会長のZhang Hongfen氏は、「ノベルの参加は、中国におけるLinux標準の定義において多大な貢献をしてくれると考えています」と語っている。

<http://www.novell.co.jp/nicweb>

ギガビットL2/L3スイッチ用
(Cisco社、Extreme社、Foundary社)

GBIC/MiniGBIC

(光・メタル伝送モジュール)

キャンペーン実施中!

(期間：10月末日まで)

既設L2/L3機器の空き(GBICまたはMiniGBIC)スロットをもっと有効利用します。DCIのGBIC/MiniGBIC(SFP)シリーズで新しいダークファイバーの接続ソリューションをご検討ください。局舎間接続を更にシンプルに!!



上段：GBIC型1000Base-SX/1000Base-LX/1000Base-ZX/1芯CWDM(LX)及び1000Base-T

下段：MiniGBIC型1000Base-SX/LX/ZXシリーズ、1芯CWDM(LX)及び1000Base-T
ギガビットホットスワップ(活線挿抜)光/メタル伝送モジュールです。

価格表

☆☆ キャンペーン実施中 ☆☆☆

GD-850-SCA-SC (850nm,1.25Gbps,3.3/5V,500m,SC)
¥36,645 (¥34,900税抜き)

GD-1310-SCA-SC.S10 (1310nm,1.25Gbps,3.3/5V,10Km,SC)
¥57,540 (¥54,800税抜き)

GD-850-SFP-LC (850nm,1.25Gbps,3.3V,500m,LC)
¥41,895 (¥39,900税抜き)

GD-1310-SFP-LC.S10 (1310nm,1.25Gbps,3.3V,10Km,LC)
¥62,790 (¥59,800税抜き)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

単芯GBIC/SFPモジュール

GB1310-SCA-SC.S20 (1310,1.25Gbps,5V,10Km,SC)
¥207,900 (¥198,000税抜き)

GB1550-SCA-SC.S20 (1310,1.25Gbps,5V,10Km,SC)
¥207,900 (¥198,000税抜き)

GB1310-SFP-SC.S10 (1310,1.25Gbps,3.3V,10Km,SC)
¥207,900 (¥198,000税抜き)

GB1490-SFP-SC.S10 (1490,1.25Gbps,3.3V,10Km,SC)
¥207,900 (¥198,000税抜き)

1000Base-T GBIC/MiniGBIC(SFP)モジュール

GD1000T-SCA-RJ (1000Bas-T,100m,RJ-45)
¥52,290 (¥49,800税抜き)

GD1000T-SFP-RJ (1000Bas-T,100m,RJ-45)
¥62,790 (¥59,800税抜き)

☆☆ 秋のキャンペーン実施中 ☆☆☆

10月末までにGBIC/MiniGBIC製品を御注文の方に、両端コネクタ付き光ファイバーケーブル(SCまたはLC、1~5mご指定長)1本プレゼント致します。

Remote Access & Broad band Switching
DCI DATA CONTROLS, INC.
データコントロールズ株式会社

東京都台東区上野3-17-4

尾上貿易上野ビル9F 110-0005

TEL:03-3836-5611 FAX: 03-3836-5614

WWW.dci.jp